

動物園飼育日記

— < 262 > —

亀井一成

〈王子動物園学芸員〉  
写真撮影も筆者

# ヒヨドリ決死の餌やり!



五日前、小さな紙箱の中でぐったりしていたヒヨドリ  
のヒナが、バタ、バタ、バタ、バタ。ヒトの気配に

「ヒュー、ヒュー、ヒュー」

顔いっぱい口を開け餌をねだりだしたのでやれやれで  
ある。

今年もまたツバメ六羽。スズメ三羽。シジュウガラ一  
羽。それにヒヨドリのヒナが持ちこまれた。

巣から落ちたものや、巣立ちに失敗したヒナたちだ。

小さな紙箱に入れられ、

「パンやお米をやってみたのですが」

ご親切に持って来て下さっても、もはや、口も開けな  
い程、弱っていることが多い。

とにかく、野鳥のヒナには、先づミルワーム（甲虫の  
幼虫。ペットショップや釣餌店に売っている）を口の中  
に入れてやること。

もし、顔色もなく脱水している時は虫を水に浸してや  
ることもよい。そして、ヒナの入った紙箱に鳥カゴをふ  
せ、その上に布切でもかぶせて暗くしてやることも大切  
一〜二滴の水と幼虫で、たいのみのヒナ鳥は元気にな  
ってくれるものだ。

四〜五時間もすると、見ちがえ  
るほど元気になって、指を出すと  
パツと口を開け

「ヒュー、ヒュー、ヒュー」と鳴  
くようになる。

もし、口も開けず、目も閉じ、  
何の反応もないヒナは心配だ。転  
落時にどこかを痛めていることが  
多く、いくら手当をしてもだめな  
ことが多いのだ。何故この小さな  
ヒナが、怖がらずに指先で触れる  
と、ぱつと、口を開け、餌をねだ  
ってくるのだろうか。

【親の羽音やクチバシへのすりこ



ヒヨドリのヒナが保護されていた飼育事務所（2F）

み）  
アヒルのヒナが生まれると、すぐ動くものを親と思  
い、ついて歩く。その電気ヒナ。

今、チンパンジー舎前の柵内にいるアヒル二羽がそう  
である。園内に捨てられて以来、私のあとをずっと追っ  
てくる。つまり、アヒルの「すりこみ行動」だ。

どんなヒナだろうか、紙箱を開けると、かよい羽を  
バタ、バタ、バタ。

天敵であるはずのヒトにさえ口を開けてくる。

つまり、ヒトの気配が、親鳥の羽音に聞こえ、ヒトの  
指が親のクチバシに見え、パツと口を開けてくる本能。  
これもまた、餌貰いの「すりこみ」なのである。たとえ  
それがヒトであろうと、バタ、バタ、バタ、バタ、せいっぱ  
い喜び、あまえてくる姿には、ふと哀れにさえ思えてな  
らない。

【あつ、親鳥がエサをノ】

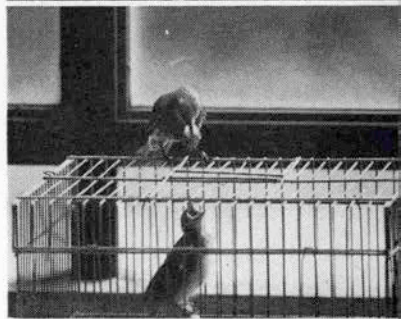
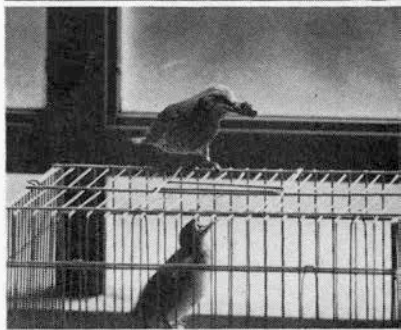
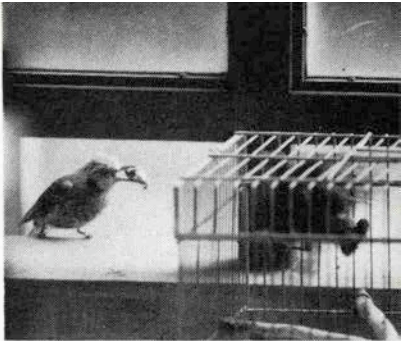
このように保護したヒナは、手近に置いていた方が世  
話しやすい。飼育事務所の窓ぎわでの飼育と相成ってい  
る。だが、その窓ぎわであったことが、幸いにも探し求  
めた親子の再会を实らせたのである。

昼夜、あれだけ口を開けミルワ  
ームやパツタを食べていたヒヨド  
リのヒナが、何故か、夜が明ける  
と、エサを食べなくなってきた。  
日中、クチバシにエサを触れて  
も、ま一文字、口を開けなくなっ  
た。

五日間は、ずい分と食べていた  
ので、それほど心配はなかった  
が、弱っているのではなく、明ら  
かに私を拒否しているのである。

「あつ、窓の向こうに親鳥やノ」  
これまでにも、カラスやヒヨド  
リが、カゴのヒナに近づいてきた





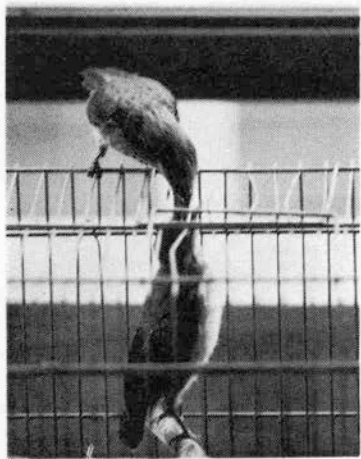
決死の覚悟の餌やり、大成功／餌はクマゼミ（右下）

ことがよくあった。

そうだったのである。このヒナ鳥は夜明けと同時に親鳥の声を聞きガラスの向うの親鳥を見ていたのであろう。早速ペランダにカゴを置いてやったら。

狂わんばかりにカゴの中をバタつき回る。

「チツ、チツ、チツチ——。チツチツチ——。」



感高い声。見れば、一見親なのだらうか二羽の親鳥。矢のように近づき、飛び去る。それでも朝から何も食べていないからと、ミルワームをピレンセットで見せてもポイツと放ってしまつて食べてくれない。

【一日四十六回。セミばかりを運んできた】

「来た来た、来た。」

親鳥の接近はカゴの中のヒナを見ていればよく分ることを知った。親鳥の見えないときは、まことに静かに、まるで、枝についた木の実のように動かないではないか「チイツ、チイツ、チーチー」

親鳥の声がとどく前にヒナがバタ、バタ、バタ。カゴの中でバタつきはじめる。ヒナの見射る方向に必ず姿を見せる親鳥。高い枝から低い屋根へ、そしてペランダへ

と、勇気がいることだらう。

羽と頭をむしりとったクマゼミを丸め啜えている親鳥は、あまり声を出せないだろう。もう片方の鳥（オスカメスカ分らない）が激しく鳴いてヒナを呼んでいるのではないか。

パツと決死の覚悟だ。ペランダの隙間をくぐり、カゴの上からセミを食べさせ、逃げ去るまで五秒間。雨の日、風の日も一日四十五回。クマゼミ、アブラゼミを運んできた親鳥にも私などよりつけなくなつた。

いよいよ本羽も生え、親を必死に追うヒナの姿。この時期を失えば、野生へは帰れない。何れは、手のリヒョドリになつてしまふ。

「今だ！」

カゴの蓋を開け放つと、二羽の親鳥は声の限り呼び、誘い、園内のポプラやクスノキから六甲の麓へと飛び立つていったのである。

ツバメもスズメもヒヨドリも、親鳥のいることを忘れた保護は彼等の野生を奪い去ることになる。そつと茂の中へヒナを置いてやるの方が本当の保護なのだ。きっと親たちは狂わんばかりに探し求めているはずである

話題のひろば

<I>

## 神戸J.C、変革への道を探る

■サマーフォーラム イン コウベ'87



写真はいずれも「サマーフォーラム イン KOBE'87」から。写真上段はパネルディスカッション。右端が戸島理事長。

この夏(社)神戸青年会議所(丁C)は第五回「サマーフォーラム イン KOBE'87」を開いた。第29代戸島博理事長の下、今年のテーマは「変革への挑戦——神戸・都市・その新たな視点」。7月16日、神戸国際会議場で終日熱っぽい討論が続いた。

これからの神戸が求められている「都市づくり」を、時代の変化を踏まえ、青年経済人の立場で、市民各層とともに新たな視点で考察し、活力あふれる快適な都市づくりをしたい——この主旨で全体は六つの分科会とパネルディスカッション、講演で構成された。

つまり「ウオーターフロント&集客」都市の創造と挑戦、あなたの企業は生き残れるか?、エアポートビジョンKOBE、コミュニケーションに言葉はいらぬ、おーい!、だじょうぶか、うちの子は?、神戸の街にエスニックを見たの六分科会と、戸島理事長が加わったのパネルディスカッション「神戸の都市づくりとこれからの課題」、そして講演は矢野暢京都大学教授による今回の全体のテーマでもある「変革への挑戦」。

神戸J.Cは来年、創立30周年という一つの節目を迎えるが、今回のサマーフォーラムの結果を次年度への活動にどう結びつけて行くか、戸島氏の力量が期待される。



話題のひろば

◁II▷

■生田地区商店会連合会創立祝賀会

# “ニュー門前町”

## をめぐす!!



右上 商店会連合会役員勢ぞろい。左上 加藤会長（左端）・副会長あいさつ。下右より高橋静山津軽三味線演奏、宮川花子・大介の漫才、小曾根実クアルテット演奏。

神社宮司が商店会の会長に就任するのは全国でも例がなく「神戸はじめ物語」。神社庁からも「ニュー門前町をめぐせ」と激励をうけたという生田神社加藤隆久宮司は大張切り。商店街単位で競争してきた敵同士の12生田地区商店会が大同団結「時流に遅れるな」と連合会を結成、その祝賀会がさる7月21日午後4後30分から生田神社会館で催された。まず三條正豊副会長の開会の辞、神楽「豊栄舞」の奉舞、続いて副会長6名を列べての加藤宮司会長の挨拶。「生田は神戸（かんべ）村44戸から出発した町、神戸市の名称もここから出ており発祥の地、収客拔群、必ず新名所となる」と自信いっぱい。貝原俊民県知事、赤坂典昭市助役石野信一神商議会頭の祝辞、吉本泰男市会議長の乾杯音頭で祝宴に入り小曾根実バンド演奏、高橋静山師の津軽三味線曲弾き、宮川大介花子の早口漫才とアトラクも賑やか、安保信太郎市商連会長の萬歳三唱、米田利勝副会長の閉会の辞で生き生き、元氣いっぱい盛会裡に終了した。さあ！ 加藤会長のお抜いを先頭にニューコミュニテイ、ニューカルチュア、ニューグルメ、東急ハンズ進出でニューファッション若者の街へ進め！ 進め！ 時代の先駆、高感度の街をめぐせ！ 昼も夜も大にぎわいのニュー門前町をめぐして！

# 学あり、華あり、 板東慧氏を囲む集い

■経済学博士の学位授与を祝う



上右/板東夫妻を囲んで 上左/フィナーレは大合唱 下右/右から長女岡本美架さん、次女英理さん 下中/ジャズシンガー滝えり子さんと熱唱 下左/神戸生活文化サロンのメンバー

「労働組合の可能性―脱工業・福祉社会の組合主義」という論文で京都大学から経済学博士の学位を受けた板東慧さんを囲む集いが、8月19日(水)午後6時から、兵庫県教育会館のグランホールで開かれた。

呼び掛け人代表として、神戸大学長の新野幸次郎・京都大学名誉教授の前川嘉一両氏があいさつ。続いて記念品が服部正氏から贈られ、貝原俊民・宮崎辰雄氏始め今井鎮雄・今岡頌子・加藤きよ子・岡田美代・藤本ハルミ・小泉本誌副編集長からの花束も贈呈され、白いスーツに身を固めた板東氏は節子夫人を伴って、照れながらも笑顔を見せていた。

中部大学教授・労働問題調査研究所所長・神戸生活文化サロン主宰と多方面で活躍する板東さんをお祝いに駆けつけた人も様々で、小室豊允、米花稔、中西市郎、吉村励氏ら学術関係者の他、小室氏と共に司会を努めた村上和子氏や、石阪春生、井尻昌一、市野弘之、印部すえこ、大里最世子、奥茂吉、片山甚市、後藤博雅、嶋田勝次、ジャン・メルオー、鳥居幸男、花柳芳恵一子、望月美佐氏ら約二百名が集まり、懇談会やパレエ、ジャズ等のバラエティに富んだお祝いが贈られた。



小山乃里子の  
華麗なる男のインタビュー

■第33回■

今井 英夫（ヘアデザイナー）

## 美容は生活の一部 トータルな表現を

神戸でお店を開いて9年。3月に2店舗目をオープン。神戸の女性の頭を美しく変えることに生きがいを感じるという今井さんによって、変身をとげたノコさんとの、頭のお話です。

★そろそろ男のいやらしさを捨てようかな。

ノコ ご縁がありまして今井英夫美容室にカットに伺うようになりまして、もう一年以上になるんですが神戸にお店を開いたのは、異人館倶楽部が出来た時からですか。

今井 そうです。もう9年になりますか。

ノコ お客様がワァーとついて、すごいもんですね。異人館倶楽部PARTIIにもお店を開いて、月に1度か2度おいでになる時には、門前に市をなすんだもんね。

今井（笑）ラジオでいろいろ言っていたらだいてるおかげで…。

ノコ この間はヨーロッパに行っちゃって、ずい分刺激を受けてお帰りになりました。

今井 世界のトップヘアデザイナーで競演しようという試みでバリ2人、ロンドン1人、日本からは僕が参加して、1人4点ぐらいの作品を作ったんです。

ノコ それはお客様に見ていただくショーだったわけ。

今井 いえ、作品撮りだったんです。メイクアップも、カメラマンも、なかなか高度なレベルで、ちょっとショットクを受けてきましたね。

ノコ 何がショックだった。

今井 少しナヨナヨしなきゃいけないんじゃないかと思ってる。

ノコ（笑）ナヨナヨ?! なんです。

今井 ナヨナヨっていうのは言葉が違うんだけど。彼らは男じゃないんですよ。だから、そういう仕事の時以外は、少し男のいやらしさを捨てなきゃいけないんじゃないかと、感じてきました。

ノコ 今井さんは男っぽいかなあ。

今井 僕は精神的にはナイーブで、気が小ちやくてダメだけど、一見はグツとしているでしょ。これがいけないなと思ってる（笑）

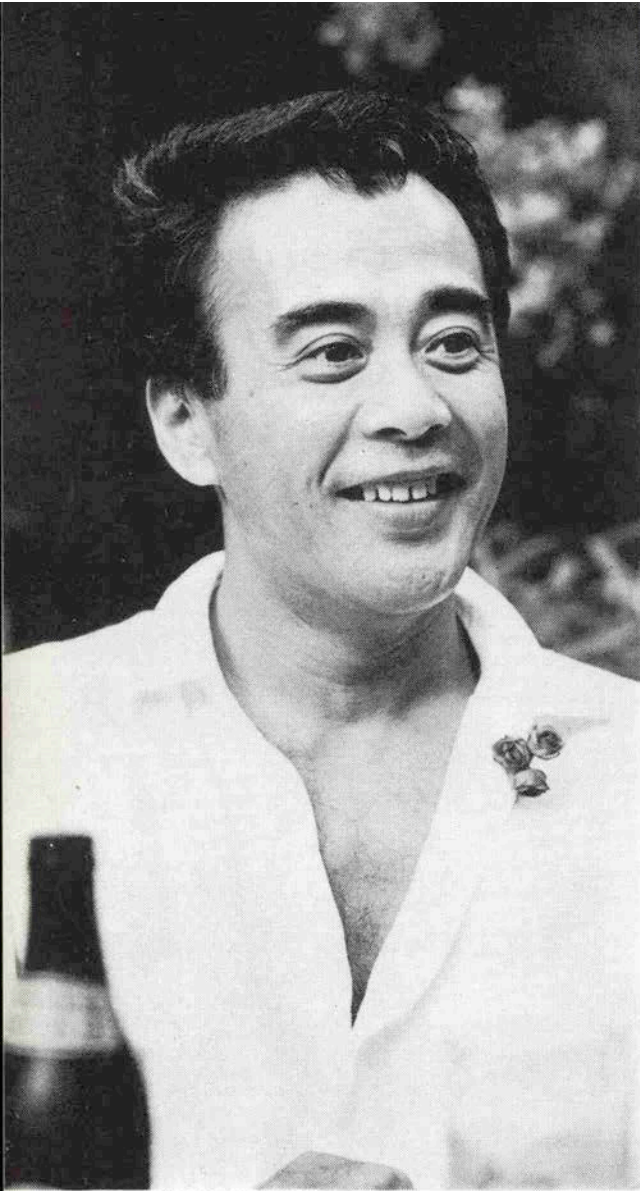
ノコ 男っぽくないことにショックを受けて帰ってきたわけ。でも、日本でやったらどうかかわからないよ。

今井 それだけじゃなくて、俺も負けてないな、と半分は自信つきましたね。絶対にかなわないっていう気持ちがあったんですよ。自分が、というより、日本人が、彼らが過ごしている環境と違うから、彼らのようなものは創れない、と思っていたの。

ノコ 他のスタッフは、キャリア的には今井さんより長い方だった。

今井 いや、ずっと若い。32歳〜35歳。僕が42歳。でもお肌は20歳ですから。





グローバルな考え方が基本です

ノコ (笑) 何、それ。

今井 ほんとだよ。この間測ったら20代だっていわれた。ノコ モデルさんを使ったの。

今井 うん、それも、この秋からVOGUEやELLEのトップに絶対出てくるような14、15歳の子を使って。

ノコ 今井さんがカットをして。

今井 カットというか、アレンジだね。いまファッションショーなんかでも、カットしっぱなしの頭ってないでしょう。カットした上にアレンジして行って、そういう延長の仕事だね。スタイリストの人も頭に合わせて、パチッと決めてくれて、そういう意味ではいい仕事が出来たと思う。

ノコ ロサンジェルスにもよく行かれるでしょう。

今井 インターン終わってそこその時に、アメリカに行ったんです。みんなあの頃はパリだった。それからロンドンだったんですよ、美容師がよく行くのは。何故、僕はアメリカだったという、美容は生活の一部でしょあの頃の日本人ってアメリカの生活を追いかけていたと

思うんです。日本は遅れているから、5年先のものを見に行こうと思った。今年も行ってきた、初めて行ってから16年ぐらいたっているんけれども、基本的にはロスは変わってない。ダメなのと思いました。

ノコ だんだん悪くなるでしょ。汚なくなるって感じ。

★神戸の人の頭をきれいにしたいノ

ノコ いまスタッフは6店舗で何人ぐらい。

今井 50人です。

ノコ 男ばかりでやってるのかと思ったら違うんだね

今井 最初は男ばかりだったんですけどね。しかし神戸でスタッフが全然育たない。

ノコ あっそう。

今井 だからみんな東京のスタッフですよ。

ノコ 何故だろう。関西で採用はしているんですよ。

今井 採ってますよ。東京だと150人ぐらいくる中で5、6人を探る。だからかなり良いスタッフですね。

ノコ ひよっとしたら自分の技術じゃ入れないかもしれない、という自己規制がこっちの人間にある、というこ



とど、意欲がそんなにかしら？

今井 技術よりも感覚ですね。結局人間性になるわけです。こつちで採用したスタッフを東京で研修して関西の店にと思ったら東京でそのまま居ついてしまう。だから開き直りましたね。9年かかって出来ないから東京のスタッフを送りこむことにしました。

ノコ それはお客様も悪いということにもなるんですか  
今井 全然そんな風に思っていないですね。僕はこつちのスタッフに関西弁を使ってはいけなくて言っている。何かかというと思うと、神戸だけの発想になってしまう。神戸できれいだと思うものを、東京、ニューヨークの間がどう感じるか、ということをつねに考えながら発想



いい頭作ります

して欲しい。もつとグローバルに目を拡げて欲しいと思うから使っちゃいけないと言う。

ノコ まあ、はっきり言って、今の考え方は納得出来ないけどね。

今井 ごめん(笑)。申し訳ないけど、こと美容に関しては遅れますよ。大阪は激しく遅れている。

ノコ そう思うね。

今井 僕はやっぱりいい頭作りたいと思うんです。

ノコ (笑) これが出ないとね。結局は刺激の問題かな。いい美容師さんがいてもそこそこのきれいな美容室を建てて終わってしまふ。

今井 いい頭を提供するのが第一基本ですよ。そのためには何をするか、ということばかり僕は今一生懸命にしている。僕に言わせると神戸は一番いい生活をしているんですよ。なのに頭が違う。

ノコ 外なの中なの(笑)

今井 (笑)外です。何も派手な頭にしろとかソパージュにしろとかいうんじゃないんです。頭は生活の一部。理想的な生活をされているのに、どうして頭だけ遅れているのって思う。東京の人間はお洒落するのに突っ張ってますから。こちらの方は自然なお洒落をされているのだから自然な頭をすればいいんですよ。そこらへんに美容師の技術者エゴがある。神戸に初めて店を出した頃に、全部東京から来たスタッフでしょ。"神戸の文化を変えらんだ"ってスタッフに言ったんですよ。僕が15年ぐらいい前に作った頭で、関西でその頃流行ってた頭があったんです。僕はもうそれは古いと思ってたんでその頭は全部断ってたんです。ですから2年ぐらいいはキツかったですね。いつやめるか、みたいな状態の時に"今井さんのおかげで、神戸の人の頭がきれいになった"って言って下さった方があって、やってよかったと思いましたね。ノコ 私も初めて行った時、一体どうされるんだろうって思ったもんね。

今井 オープンの頃、神戸で3つぐらいパーティに出て3回ともお見かけしたんです。あの方が有名なノコさんか。一生の洋服を着てらっしゃって、僕も一生が好きですね。"ちがう、一生の服にあの頭は違う!"と思ったの覚えてますよ(笑)。

ノコ (笑) その時から、あの頭を何とかしたい、思っていたらっしゃったようで。短くされて、私もすっかり変わりました(笑)

ノコの一書 世間では、わりにお洒落に思われているらしいが、私は髪の毛やお化粧に関して大体無頓着な方である。いや、あつたというべきか。今井さんに髪をいじられて、ずい分世間が変わった。髪は女の命です。

贈って喜ばれる

## 花見屋の浮世あられ

伝統の味、良質のもち米と醤油を使って、一枚一枚焼きあげた手焼きのおかきには、独特の菌ごたえと香ばしきがある。  
日本茶で過ごすひととき、浮世あられをはじめ、花見屋のオリジナルをお楽しみ下さい。



## 花見屋

元町店・中央区元町通2-6-6  
TEL (078) 331-0873 無休



■天井棧敷■

神戸生まれの神戸育ち

## 国際ジャパネスク歌舞伎

10月17日(土)18日(日)

神戸文化ホールにて相勤候

ご存知

## 『源氏店』

海野演出只今特訓中!



第四回のジャパネスク歌舞伎が昨年に続いて十月十七・十八日の土、日両日、神戸文化ホールで開催される。発展的改組されてから主宰者海野光子女史の家庭的な都合で、二年間中断したものの一九七〇年にカナディア歌舞伎として産声をあげてから十五年目の公演である。

はじめは国際学校カナディアン・アカデミーの、二百七十席しかない狭い体操場で行われていたが、その五回目の「頼朝の死」と「法界坊」を鑑賞したとき、せいぜい学芸会程度のものでタカを括っていたのが、全く予想に反するものだった。青山学院や関西の大学などでもクラブ活動として歌舞伎研究や実演を行っているところもあるが、それとは全く意気込みが違っていた。日本語を勉強している生徒たちとは言え、あの難しい歌舞伎の歌詞やアクセント、イントネーションを見事

にこなしての演技。このままでは勿体ない、広く社会に公開し、外国籍の少年少女たちでもここまでやれることを鑑賞してもらいたいと、その翌年神戸文化ホールへ招いたのが私と、「青い目の歌舞伎」との関わりのはじめだった。だが一つ断っておきたいのはその後、マスコミなどで「青い目の歌舞伎」としても囃されたには全く不満だった。問題はその演技の内容であって目の色が青いとか黒いとかは関係の無いことなのだから。

さて、今年の出し物は、昨年の「鳴神」から一転して世話物の、「存じ「源氏店」」「切られ与三」の略称で「しがねえ恋の情けが仇」の名台詞でしられる三世瀬川如皐作「世話情浮名横櫛」である。

夏休み中に立稽古を済ませたいというその前の一、稽古風景を見せてもらった。

与三郎はロス・ラムジイ・グリア(米)

お富ーキャロリン・ホーランド(米) 蝙蝠

安ージョン・ラスムッセン(米) 多左衛門

ーポール・ハッチソン(米) 藤八ー白数元

伸(日) およしースザンヌ・ウエグミユラ

ー(スイス) 権助ー未定

といった配役で、藤八、権助の二人の在学生のほかはすべてカナディアン・アカデミーの卒業生、中でもキャロリンさんは「頼朝の死」の尼御台で真山美保さんから絶賛を博したが、その前、三回目の公演「番町皿屋敷」でお菊を十五才でこなしたときの相手、主役の青山播磨が当時十四才だったロス君、十四年ぶりのコンビ・キャストである。ロス君は米国在住で十月の来日が確定しているが、ジャパネスク旗揚げ公演ですでに切られ与三での名演技を披露しており、息の合った舞台が



海野先生（右）の自宅で夏休みに「源氏店」の特訓が始まった。

みられるだろう。藤八役の白数君は九年生、日本流にいえば中学三年の十三才、色っぽいお富とのチャリ場を達者にやっけてのけていた。ポール君はこの日、阿波踊りを楽しんだあと駆け付けたが、女物の浴衣を腰上げしないでちやうど身丈に合うといった大店の主にふさわしい堂々たる偉丈夫、およし役のスザンヌさんは初舞台で張り切っている。編輯安と権助役にはこの日お目にかかれなかったが、本公演でのお楽しみにしておこう。

なお、こんどの公演で注目したいのは創作舞踊「滝に立つ竜女」を踊るハイジ・シュレツファアさん（米）である。かつて十一回目と旗揚げ公演で「舞」「泉」をそれぞれ見せているが、日舞の中に洋舞的要素を取り入れた手練の踊りは絶賛に値する。

以上、稽古風景をかい間みた寸描を述べたが、この公演のあと、十一月には大阪での世界首長会議に、そのあと青森県へ、また来年八月には岡山県からと、出演依頼が次々と舞い込んでいる。

神戸で生まれ、神戸で育ったジャパネスク歌舞伎、その灯を消すようなことがあっては神戸っ子の名折れにならう。レポートにも修禪寺物語、藤十郎の恋、仮名手本忠臣蔵（三・四・七段目）助六、弁天小僧、御浜御殿、車曳、伊勢音頭、勸進帳、文七元結、寺子屋など前述したほかに、十一にも外題が及んで、今度の公演を成功させることよってさらに次の発展が期待される。神戸市民の絶大なる応援と主宰者海野光子女士およびその一座のスター諸君の、この上の精進を願って止まない。

松井 一郎

（関西舞台文化懇話会代表世話人・元神戸文化ホール館長）



# ゆらゆらゆらと神戸港 十七年ぶりの精霊流し



メリケン地蔵供養は始った。(左) ポートタワーの灯とちょうちんの灯りに一にぎわうメリケン地蔵盆踊りー

「お星さまへ 勉強ができますように」

「早くおヨメに行けますように」

「さようなら、旧神戸商工会議所ビル」

「故小尻知博記者のご冥福を祈る」

八月二十三日の地蔵盆の夜。

ゆらゆらゆらと、メリケン波止場の波の上に、十七年ぶりに復活した手づくりの精霊流しが、皆の願いごとと祈りを込めて、およそ百個の白く淡い光の灯ろうが美しく漂った。

この神戸港の精霊流しも、昭和四十五年末に海洋汚染防止法が施行されてから途絶えていたもので「神戸港を考える会」（代表角本稔）のメンバーが、神戸保安部の認可を、流した灯ろうを回収する」と約束して復活したものだ。

「精霊流しを唄では知っていたけど、こんなにきれいで心がほっとするものとは思わなかったわね」

と話すのは画家の中西勝さんの咲子夫人。友人のクリウイ・モヘムッドさん親子と一緒に参加した。

「神戸港を考える会」は、ミナト

に親しみと潤いをもたせる運動として昨年七月に発足。ポート・ウォッチング・マップ「ポコ」の製作や、ポート・ウォッチングを続けてきたが、メリケン波止場の玄関口で、放置されていた「いかり地蔵」を、神戸開港120年記念に「メリケン地蔵」と改名して五月二十一日に手づくりのお堂を完成。

八月二十三日は、初めての地蔵盆供養と盆踊りと精霊流しの復活を行った。この日は旧神戸商工会議所ビルの解体前夜にもあたり、参加者約二百名が、ライトアップのさよならセレモニーにも加ったメリケン地蔵尊の初めての催しに、大童寺（再度山）の井上仁性住職が供養をおごそかに行い、角本会長から協力者への感謝状が、チーク材提供の三東商事の林孝親さん、建立づくりの岩月左千夫さん、何回となくポートウォッチングの船や灯ろうの回収に協力した神戸観光汽船の村主昭和さん、お賽銭箱を作ってくれた鹿瀬弘さん、宮田禮彰さんらに……。

一番嬉しいお参りは「いかり地蔵」を創設した故小野米吉さんの息子さんが大阪からやって来たこと。

「精霊流し」も、手づくりでと、ボール紙の四角い浅小箱を舟の台に、工作の細い木を四角と四面に渡し、お祈りや願い事を描いた障子紙を張りめぐらすという、会員



十七年ぶりにミナト神戸の精霊流し(左上) 手づくりで灯ろうづくりの子どもたち(右) 歌うダゴベルトさん親子(左下)

のアイデアで材料費百円はお供になるというもの。浴衣姿の親子参加は、里親運動のの家庭養護促進協会(橋本明事務局長)の推進とチャリティもあって、楽しげに、灯ろうや、うちわに絵を描いて行く。プログラムは、「神戸太鼓」(二葉会児玉利雄)とインターナショナルにと日本チリ協会の、グランミカエラ・イ・ダコのダゴベルト親子が、チリの唄を。この会もコロナピアのオマイラちゃんに、お地藏さんを贈ったという奉仕チーム。盆踊りは、婦人会(暮合)小林紫右さんチームが指導。あの懐かしいミナト音頭や、炭抗節を踊る。ブルーののぼりや、ちようちんは地元の元町商店街や栄町通の人々が応援し、朝から本部のテントや客席づくりの大谷徳風社の出張協力が、夕立ちに出会ったこの催しにとって有難い協力だった。

十七年ぶりに復活した精霊流しの灯ろうを、ハシケだまりで亡くなった子供たちの魂もきつと喜んで見ていることだろう。

全葬連認定「葬祭専門士資格取得者」  
株式会社 大谷 徳風 社  
代表取締役 大谷 晃 世

全国葬祭事業協同組合  
神戸葬祭事業協同組合理事  
神戸市規格葬儀取扱指定店理事  
本社/神戸市長田区松野通1-11-12  
☎078-621-0089  
鈴蘭台支店/☎078-592-5485



〈ジエームス山便り〉

# そこにはエキゾチックな風が渡る

★エキゾチック・タウン

ジエームス山

ジエームス山—エキゾチックな響きをもつジエームス山は、塩屋の高台になる。阪神間に住む人々にとって、ジエームス山は高級外国人住宅地として知られて来た。

神戸を訪れた外国人が、この地に住居を構えたのは、明治三十年頃である。

大正九年には、現在も外国人のコミュニティとして賑う「塩屋カントリークラブ」が建てられた。



ウィリアム・ジェームス

入社、総支配人まで勤め、戦前の神戸外人商業会議所の会頭、阪神国際委員会会長を歴任、商業の発展に力を尽した。

ところでジエームス山の名

前の起こりは、英国人アーネスト・ウィリアム・ジェームスが、昭和七年に十萬坪を購入し、開発を始め、昭和十年頃から外国人専用の賃貸住宅を約八十戸つくったところから始っている。

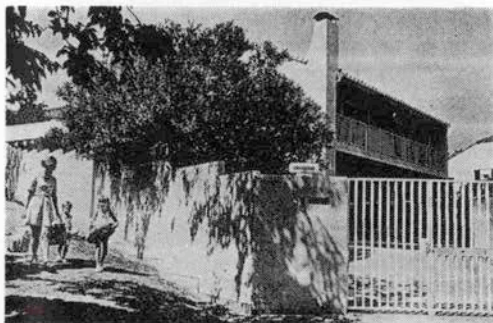
ジエームスは、一八八九年神戸に生まれた。父は船長で永年にわたって瀬戸内海の水先案内人を勤めていた。ジェームスは、神戸にあった日本の外国人学校で教育を受けたあと、エー・カメロン商会に

莫大な資材の投入によって

ジエームス山に道路、水道、住宅、教会、神社、公園など居住に必要なあらゆる施設を整備したのである。

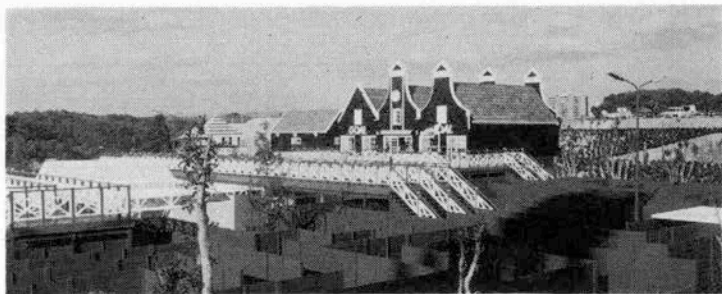
この事業によってイギリスおよびスウェーデンより勲章が授与され、戦前には駐神戸スウェーデン領事館名誉領事に就任した。一九四一年にいったん帰国したが、四八年帰神、五二年に没した。ジェームスの遺業は地名となって後世に伝えられたのである。

外国人住宅の多いジエームス山



★ジェームス山は不思議の国  
ジェームス山には、様々な  
施設がある。「超巨大迷路」  
「井植記念館」「ジェームス  
山自動車学院」等々。

しかし、何と言っても、ジ  
ェームス山には、現在も外国  
人が住んでいる家がある。ほ  
んの少し散歩をするだけで、  
眼前に広がる明石海峡と外人  
住宅街に着く。青い眼をした  
子供達が走り回り、白い肌の



ジェームス山には様々な「遊び」もある（巨大迷路）

女性がテニスに興ずる光景が  
あるのだ。

また、その住宅街の一角に  
は、かつて外国から人々が住  
んでいただろう洋館が当時の  
ままに残っていたりもする。

鬱蒼とした森の中に、古い  
家の土台と、レンガ造りの暖  
炉が残っていたりする風景は

とても日本とは思えない。そ  
れらの古い洋館を舞台に『ト  
ットチャンネル』等を撮った  
大森一樹監督が、新作を作る  
という話がある。古い洋館を  
譲り受けたカップルの話だと  
言うが、ジェームス山を選ん  
だのも、そんな風景があった  
からに違いない。

★地域の文化の向上に力を尽くす

財団法人

井植記念会

神戸市垂水区青山台二丁目二十一 電話（〇七八）七五一五二二六



井植貞雄理事長

財団法人井植記念会（井植貞雄  
理事長）は、昭和四十四年に設立  
された。その本部は眼下に海原を  
見下ろすジェームス山上の景勝の  
地にある。

井植記念会は、三洋電機株式会  
社の創設者、故・井植歳男氏の遺  
志によって設立されたものであ  
る。

井植氏の私財の一部（当時で時  
価約十億円）を投じて同記念会の

前身、財団法人井植愛郷会がつく  
られたのは昭和三十七年にまでさ  
かのぼる。

同記念会は、寝たきり老人や福  
祉施設へのテレビやラジオなどの  
贈呈、交通遣児や英才教育のため  
の奨学金支給貸与など各事業の順  
調な進展に加え、昭和四十八年に  
井植文化賞を制定、毎年、地域文  
化に貢献した個人・団体を幅広い  
分野から発掘、顕彰をしている。